

令和3年度 学校自己評価システムシート

(私立 春日部共栄高等学校)

目指す学校像	全人的人間の育成という精神を基礎として、知、徳、体の調和のとれた豊かな人間性を育み、社会の発展に寄与する有能な人材を養成する。
--------	-----------------------------------------------------------------

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 社会貢献の意識を基礎とした高い志を育む自治活動の展開 2 生徒からの信頼や期待に高い水準で応え得る授業を中心とした教育活動の実践 3 生徒の可能性を引き出し、生徒の夢を実現する進路指導の充実 4 生徒、保護者、卒業生をはじめとする学校関係者への情報提供の推進
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

達成度	A	目標がほぼ達成できた
	B	目標が概ね達成できた
	C	取り組みに変化の兆しがみられた
	D	取り組みが不十分であった

＜学校関係者評価委員会＞	
協議委員（学校関係者）	7名
内部委員（教職員）	7名

学 校 自 己 評 価					学 校 関 係 者 評 価	
年 度 目 標			年 度 評 価		最終実施日令和4年3月26日	
番号	評価項目	具体策と評価指標	達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校関係者からの評価・要望
1	<ol style="list-style-type: none"> ①「至誠一貫」の精神のもと、規範意識を高めリーダーシップを発揮できる人材育成とその伝統づくり ②年齢に応じた社会貢献やボランティア活動の実践 ③生徒どうしが互いに応援しあい達成感を共有できる環境づくり 	<ol style="list-style-type: none"> a. 公共マナーや情報モラルの向上を目指す継続的な指導 →学校生活アンケート 設問1・2で①②の回答率90%以上 設問3・4で①②の回答率80%以上 b. 生徒の主体的発信を軸にした自治活動の確立 →学校生活アンケート 設問5で①②の回答率80%以上 <ol style="list-style-type: none"> a. ボランティアに対する意識啓発と年間を通じたはたらきかけ →学校生活アンケート 設問6で①②の回答率80%以上 b. 災害時、緊急時の対応と地域への社会貢献 →学校生活アンケート 設問7で①②の回答率80%以上 c. 感染症予防対策への理解と実施 →学校生活アンケート 設問8で①②の回答率80%以上 <ol style="list-style-type: none"> a. 「快音」等を利用した啓蒙活動の充実とお互いを認めあう意識づくり →学校生活アンケート 設問9で①②の回答率80%以上 	<ol style="list-style-type: none"> a. 公共マナーについては98.2%、挨拶・感謝の気持ちは96.0%、交通ルールについては98.5%の生徒が①②と回答し高い数値で目標に達したが、スマホのルール作りでは64.2%にとどまった。 b. 生徒会や委員会から発信される情報について90.0%の生徒が意識して学校生活を送っている。 <ol style="list-style-type: none"> a. ボランティアへの参加・協力では①②に回答した生徒が62.7%、教員アンケートでもはたらきかけの感触は64.7%と昨年よりも伸びた。 b. 防災意識は①②と回答した生徒は90.1%と高かったが、教師は80.4%にとどまった。 c. 感染症対策への意識は①②と回答した生徒は98.6%、教師は96.1%と高い数値を示した。 <ol style="list-style-type: none"> a. コロナ禍で制約のある学校生活であったが相互尊重・相互応援等の意識は①②と回答した生徒が82.0%、教師のはたらきかけが90.2%であり目標値を上回った。 	<p>B</p> <p>A</p> <p>A</p>	<ol style="list-style-type: none"> a. 「十か条」が定着し、規範意識は高まっており、自転車等の苦情も減少していることから今後も継続的な指導に努めたい。スマホ利用については『共栄ルール』を基本に家庭でのルール作りを推進したい。情報モラルについても外部機関との連携を図りたい。 b. 生徒から生徒へ向けての帰属意識の向上や感染症対策を中心とした注意喚起を継続的かつ定期的に実施したい。 <ol style="list-style-type: none"> a. アダプトプログラムや夢の森公園森づくりなど地域のボランティア活動を推奨したい。 b. 避難訓練は是非コロナ禍であっても状況に応じて実施していきたい。 c. 黙食指導や換気の放送など基本的な感染対策の徹底を継続していきたい。 <ul style="list-style-type: none"> ・成人年齢引き下げに伴い、消費者教育に力を注ぎ、問題の未然防止に努めたい。 <ol style="list-style-type: none"> a. 特定クラブに偏らず「快音」を発行し部長会議・クラブ会議・壮行会をコロナ禍であっても状況に応じて実施したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍にあつていろいろな制約のある中、様々な取り組みがしっかりできていると思います。今後も感染対策をしっかりしながら張感を持って生徒たちの指導をお願いします。 ・コロナ禍で制約の多い中、生徒の授業満足度アンケートの結果が良かったのは、オンライン授業と対面授業の併用など先生方の創意工夫とスパイラル学習による学力の定着を生徒たちが実感しているからだと思います。 ・オンラインを最大限活用して説明会やオープンキャンパスを実施したことにより、その参加者が増加するなど成果が表れていると思います。
2	<ol style="list-style-type: none"> ①生徒の自己学習力育成を可能にする授業の実践 ②授業点検と改善の実施 	<ol style="list-style-type: none"> a. 生徒個々の家庭学習計画の作成と実践 →学校生活アンケート 設問10・11・13で①②回答率70%以上 b. 個人面談を中心とした生徒個々人に応じた学習・進路・生活指導の充実 →学校生活アンケート 設問12・19で①②の回答率80%以上 →保護者アンケート 設問2で①②の回答率80%以上 <ol style="list-style-type: none"> a. 授業アンケートの活用による授業点検と改善 →授業アンケート 総合満足度の①②の回答率85%以上 	<ol style="list-style-type: none"> a. 家庭学習計画の作成と実践では76.5%の生徒ができており、2時間以上の自学自習を確保している生徒も目標には届かなかったが55.0%と前年より微増した。 b. 担任や教科担当との個人面談では94.0%、Google Classroomを通しての情報配信では83.7%の生徒が有効と回答、また保護者からみた感触も82.6%と目標値を上回った。 <ol style="list-style-type: none"> a. 授業に対する総合満足度は94.1%の生徒が①②と回答しているが、授業アンケートを活用して授業点検をしている教員は72.6%と前年度よりもやや減少している。 	<p>A</p> <p>B</p>	<ol style="list-style-type: none"> a. 自学自習に取り組んでいると回答する生徒は増えていますが、学習時間は2時間に満たない生徒も多く、意識にずれがある。学力向上に繋がるよう模試の復習やスタディアプリの利用を積極的に推進したい。 b. 来年度から高校1年で全員Chromebookを持つのでアクティブラーニングなどでICTツールを積極的に活用していく。個人面談における教師の自己評価は78.4%であったが、今後2期制に向けてICTツールを活用し長期休業中の面談にも有効活用していきたい。 <ol style="list-style-type: none"> a. ICTツールを利用したオンラインでのアクティブラーニングやスパイラル学習のスキルアップを図りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Google Classroomを通しての情報配信によってプリントによる配布物が削減され、エコ教育の実現に繋がっていると感じる。 ・二期制スタートの年でもあり、スパイラル学習、アクティブラーニング、グローバル教育などを継続的に進めていくことと土曜日のチューター付き自習室の向上に努めていきたいと思っています。
3	<ol style="list-style-type: none"> ①生徒の可能性を引き出し、生徒個々に応じた進路開拓と大学選択 ②授業の充実と進学講習や模試等の仕掛けによる学力増進 	<ol style="list-style-type: none"> a. 学年に応じた説明会、講演会、「Academic Issues」等を利用した啓蒙活動の充実および意識啓発 →学校生活アンケート 設問14・15で①②の回答率80%以上 b. オープンキャンパス等を利用した主体的な進路研究の実践 →学校生活アンケート 設問16で①②の回答率80%以上 c. 生徒・保護者対象進路説明会の実施と保護者からの意見集約 →保護者アンケート 設問8で①の回答率80%以上 <ol style="list-style-type: none"> a. 各種講習や試験の整理および充実とその活用 →学校生活アンケート 設問17・18で①②の回答率80%以上 	<ol style="list-style-type: none"> a. 「Academic Issues」の活用が役立っていると回答した生徒が63.5%、進路説明会や進学講演会等が役立っていると回答した生徒が80.3%であった。 b. オープンキャンパス等を利用した進路開拓の実践は74.3%であったが、3年生だけに限れば86.4%と高い数値を示した。 c. オンラインでの保護者説明会では52.6%と約半数が参加し、そのうち78.1%の保護者が参考になったと回答している。 <ol style="list-style-type: none"> a. 第IV期の夏期講習がコロナの影響で中止になったこともあり、役立ったと回答した生徒は68.8%にとどまった。なお、試験後の見直しをしている生徒は82.2%と微増し目標値を上回った。 	<p>A</p> <p>B</p>	<ol style="list-style-type: none"> a. 4月・5月実施予定の生徒対象進路説明会も内容を精査しコンパ外にまとめて録画・編集・配信を考えていきたい。 b. 国公立大学への意識を高められるよう共栄独自のオープンキャンパスを企画する。 c. 2年10月の進路説明会では今年度を踏襲し、さらに内容を精選して保護者の参加を促していきたい。 <ol style="list-style-type: none"> a. 週末の土日に自学自習の時間を確保しながら部活との両立を目指すためにも土曜日のチューター付き自習室を軌道に乗せることが課題である。また模試の復習や過去問への取り組みに対する生徒の意識向上を図り、志望校への距離感を常に意識させて指導していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も二期制の取り組みや土曜日の活用、自学自習の学習習慣の確立と部活動の両立を目指し、春日部共栄らしい文武両道を期待しています。
4	<ol style="list-style-type: none"> ①本校Webサイト等を活用した学校関係者への情報発信 	<ol style="list-style-type: none"> a. ホームページの充実と効果的な運用 →保護者アンケート 設問9で①②の回答率80%以上 b. 保護者向け連絡システム(スタディアプリ連絡帳)の有効活用 →保護者アンケート 設問10で①の回答率80%以上 	<ol style="list-style-type: none"> a. ホームページを閲覧した保護者の78.8%が見やすい、わかりやすいと評価している。 b. スタディアプリ連絡帳が役立っていると回答した保護者は63.8%で微増し、②の回答を含めると94.6%と高い評価であった。 	<p>A</p>	<ol style="list-style-type: none"> a. ホームページの改定を図り動画やSNSを導入し、より効果的な情報発信を心がけていきたい。 b. 新しい校務支援システム(BLEND)を利用し柔軟な発信を行いたい。また、親子の会話の減少に繋がらないよう工夫したい。 	